

3 時間目

クリーンセンターの役割^{やくわり}

クリーンセンターには、^{しょうきやくしせつ}焼却施設と^{はさいしせつ}破碎施設があります。
^{しょうきやくしせつ}焼却施設では、燃えるごみを燃やしています。
^{はさいしせつ}破碎施設では大きなごみを細かく砕いて、鉄などを取り除いています。



^{しょうきやくしせつ}焼却施設

ごみを850度以上の温度で燃やしています。

①ごみの量を減らします。

ごみを燃やすと灰になります。
灰にすると、ごみの重さは10分の1に、体積（大きさ）は20分の1になります。
ごみを燃やして、ごみの量を減らすことで、埋立場が長もちするようにします。

②ごみを燃やすことで、ごみの臭いが発生するのを防ぎます。

燃やすことで、ごみの臭いを防ぎます。
クリーンセンターの周りの住民に迷惑をかけないようにします。

③ダイオキシン類などの発生を防ぎます。

850度以上の高い温度で燃やすことで、ダイオキシン類という環境に悪い影響を与えるものが発生するのを防ぎます。

④ごみを燃やすことで電気を作っています。

ごみを燃やすときに出る熱から蒸気を作り、タービン発電機を使って発電しています。
作った電気はクリーンセンターやウォーターパレスKCで使っています。また、余った電気は電力会社へ売っています。

^{はさいしせつ}破碎施設

大きなごみを細かく砕いています。

①大きなごみを細かく砕きます。

大きなごみを細かく砕き、鉄などの資源を取り除き、残ったものは燃やしています。

1日でおよそ180トンのごみを処理しています。

最近はおみを持ち込む人が多くなり、渋滞が問題になっています。

